



暑い季節がやってきました。梅雨明け直後は暑い日が続くので、熱中症に注意しなくてはなりません。水分補給や体調管理に気をつけながら、涼しい時間帯は外遊びをして、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。

夏に多い感染症

ウイルス感染によっておこる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう

手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ぼうがができ、発熱することもあります。食事は喉越しのよいものを食べましょう。



ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水ぼう、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1~4日くらいで解熱します。



咽頭結膜熱(プール熱)

プールで感染することもあり、高熱が3~5日くらい続き、のどの痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化の良いものを食べましょう。



流行性角結膜炎(はやり目)

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

※保育園では、咽頭結膜熱(プール熱)・流行性角結膜炎(はやり目)と診断されたりアデノウイルス感染症と診断された場合は医師が記入した「佐倉市登園許可書」が必要となります。また、手足口病やヘルパンギーナと診断された場合は保護者記入の「佐倉市登園届」の記入をお願いいたします。そのほかにも届け出の必要な感染症があります。詳しくは『保健室から』をご確認ください。

用紙は保育園に用意してあります。または、ホームページよりダウンロードも可能です。左記のQRコードからダウンロードできます



虫刺されについて

- ・虫刺されは、かきこわしてしまったりとびひになることがあります。早めのケアと予防を心がけましょう。
- ・保育園では、虫よけシールや虫刺され後の貼り薬などはつけなくて登園していただくようお願いしています。虫よけスプレーや虫よけクリームなどは、ご家庭でつけてから登園していただきますようよろしくお願いいたします。園で刺された場合は、冷やすなどの対応をさせていただきます。